



No. 92

<http://www.ajgika.ne.jp>

全日本中学校技術・家庭科研究会

会長 池田 敦彦

〒121-0012 Tel. 03-3880-2231

東京都足立区青井4-19-1

足立区立青井中学校

あいさつ

会長 池田 敦彦
(東京都足立区立青井中学校長)

平成27年5月に開催されました総会におきまして顧問の皆様からの推薦を受け、全国の理事の皆様方からご承認をいただき昨年度に引き続き会長を拝命いたしました。全国の技術・家庭科教育が一層充実発展するために取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度に引き続き実施いたしました「技術・家庭科に関する全国アンケート」ですが、多くの会員の皆様にご協力いただきまして感謝申し上げます。公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会にはwebでのアンケート作成実務から集計作業等全面的に支援をいただきながら多くの回答をいただきました。昨年度は技術科を対象といたしまして実施いたしました。その調査結果概要は総会において報告させていただきました。詳細につきましては11月に開催されます第54回全日本中学校技術・家庭科研究大会・三重大会においてご報告させていただきます。各都道府県市の研究会のご努力に心より御礼申し上げます。

調査結果をもとに技術・家庭科の必要性、授業時間数増、専任免許保有者の確保等、継続して各方面に働きかけてまいります。今年度も課題解決を図るために研究調査部を中心に内容を検討し、今年度は家庭科を対象としたアンケートを実施させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

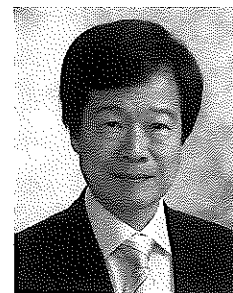
さて、現在の学習指導要領は教育基本法の改正によって明確になった教育理念を踏まえて、「生きる力」の育成を重視する観点から教育目標と内容が見直されました。言語活動や探求的な学習活動を重視され、「基礎的な知識および技能」、「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく育てることをめざし各研究会、各学校では様々な取り組みが重ねられています。しかし、子どもたちの現状は自己肯定感や学習意欲が低く、自分の考えを根拠を示しながら述べるのが苦手である子どもが多いなど、課題も多くあります。また、これからの社会は、一人一人がさまざまな経験を重ねながら個性や能力を伸ばし、それぞれの強みを生かしながら、ともに支え合っていくことが求められています。さらに、これからは学校で学んだことだけで解決できる時代ではなく、正解のない課題に対して最適と思われる解を導く力が求められます。

そのためには、何を教えるかという内容の改善とともに、課題解決に向けて主体的に協働して学ぶ活動等を通して、子どもたちの学習意欲を高めながら知識や技能を定着させていくことが大切です。また子どもたちが学んだ結果として何が身に付いたかを把握する評価についても改善を図っていく必要があります。

本教科では、生徒の実態に即した問題解決的な題材設定や生徒自らが課題を見つけられる力を育ませることが大切です。学習指導要領の趣旨を踏まえ、3年間の履修内容や題材の配列を踏まえた指導計画の作成と内容の取扱いを設定し、これまで以上に本教科の目標に向けた学習内容の充実を図り、課題解決的な技術・家庭科の学習を充実発展させた授業づくりを目指していきましょう。

一方、今回で16回を迎える「全国中学生創造ものづくり教育フェア」ですが、これまで5年間にわたり東京都江東区にあります新木場タワー、中央区立中学校で実施してまいりましたが、今年度から東京都武蔵野市教育委員会のご協力を得て、「武蔵野市総合体育館」で5部門を一つの会場で開催することができるようになりました。お弁当コンクールにつきましては継続して女子栄養大学のご理解とご協力を得ながら実施いたします。このフェアは技術・家庭科の授業を通して子どもたちが身につけた力を発表できる機会です。生徒たちの生き生きとした姿や作品を通して、本教科を広く社会にアピールできる場でもあります。運営面では予算確保、人員確保に努めて参りますが、会員の皆様、関係機関のご理解とご協力をいただきながら継続して開催して参ります。

最後に、今年度も研究活動の活性化、人材育成を図るためにも各地区研究会の仲間と情報を共有し、互いに学びながらよりよい授業づくりと実践を重ねていきましょう。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



平成27年度 全日本中学校技術・家庭科研究会 総会 (理事会)

I. 日時 平成27年5月23日(土)

報告・協議 13:30～

II. 会場 ヴォーグ ビル

III. 総会 司会 事務局長

1. 開会の言葉 田極 政一郎 副会長(東京都会長)

2. 会長挨拶 池田 敦彦 会長

3. 来賓挨拶 上野耕史 文科省調査官

来賓挨拶 筒井恭子 文科省調査官

来賓挨拶 岡田真嘉 全国中学校産業教育教材振興協会会長

来賓挨拶 古川 稔 日本産業技術教育学会会長

来賓挨拶 今成 昭 全国家庭科教育協会(ZKK)副会長

来賓挨拶 小島 亮 全日中技術・家庭科研究会顧問

4. 出席者紹介 自己紹介 49都道府県市、来賓及び本部役員

5. 議長選出 議長 平松 功治 事務局次長

6. 議 事

(1) 平成26年度 事業報告

(2) 平成26年度 決算・監査報告

(3) 平成27年度 本部役員改正

(4) 会長挨拶

(5) 副会長・会計監査の推薦

(6) 事務局長・部長の委嘱

(7) 平成27年度 事業計画案

(8) 平成27年度 予算案

7. その他

(1) 全国アンケート調査報告

(2) 全国・地区大会について

平成27, 28, 29年度開催予定

(3) その他

8. 閉会の言葉 熊井 久乃 副会長

全国大会・地区大会 開催予定

(1) 今後の大会開催地 (※印は全国大会)

年度 地区	26	27	28	29	30	31	32	33	34
北海道	札幌	道南	※上川	札幌	道東				
東北	岩手	宮城	青森	※秋田	山形	福島	岩手		
関東甲信越	群馬	山梨	埼玉	新潟	長野	茨城	神奈川	※東京	栃木
東海・北陸	富山	※三重	愛知	福井	岐阜				
近畿	和歌山	奈良	京都	大阪	滋賀	※兵庫			
中国・四国	※徳島	鳥取	高知	広島	香川	山口	※広島		
九州	福岡	熊本	沖縄	鹿児島	※佐賀				

(2) 平成28年度 全国・ブロック大会 開催予定

地 区	開 催 県	開 催 日		
		理 事 会	全 体 会	分 科 会
北海道	※旭川	10月5日(水)	10月6日(木)	10月7日(金)
東北	青森	11月1日(火)	11月2日(水)	11月2日(水)
関東甲信越	埼玉	10月13日(木)	10月13日(木)	10月14日(金)
東海・北陸	愛知	10月27日(木)	10月27日(木)	10月28日(金)
近 畿	京都	11月17日(木)	11月18日(金)	11月18日(金)
中国・四国	高知	11月9日(水)	11月10日(木)	11月11日(金)
九州	沖縄	11月23日(水)	11月25日(金)	11月24日(木)

全日本中学校技術・家庭科研究会

平成27年度 本部役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属		所 在 地	電 話
		地 区	学 校 名		
会 長	池田 敦彦	東 京	足 立 区 青 井 中	〒121-0012 東京都足立区青井4-19-1	03-3880-2231
副 会 長	近久 直人	北 海 道	札 幌 市 福 移 中	〒007-0890 札幌市東区中沼町240番地	011-791-4212
〃	廣田 隆延	三 重 県	鈴 鹿 市 創 徳 中	〒513-0803 三重県鈴鹿市三日市町1803-8	059-382-5205
〃	西本 孔則	奈 良 県	高 取 町 高 取 中	〒635-0132 奈良県高市郡高取町森30	0744-52-2151
〃	平井 光一	鳥 取 県	鳥 取 市 湖 東 中	〒680-0941 鳥取県鳥取市湖山町北6-323	0857-28-1064
〃	田極政一郎	東 京 都	武蔵野市 第 六 中	〒180-0022 東京都武蔵野市境3-20-10	0422-53-6311
〃	熊井 久乃	東 京 都	小 平 市 小 平 十 五 小	〒187-0032 東京都小平市小川町2-1136	042-343-0203
会 計 監 査	加藤 謙司	東 京 都	中 央 区 銀 座 中	〒104-0061 東京都中央区銀座8-19-15	03-3545-8011
〃	白倉 昌裕	東 京 都	渋谷区 原宿外苑中	〒150-0001 東京都神宮前1-24-6	03-3402-7526
〃	愛甲 慎二	東 京 都	羽 村 市 羽 村 一 中	〒205-0015 東京都羽村市羽中3-6-33	042-554-2012
事 務 局 長	関 年隆	東 京 都	中 野 区 北 中 野 中	〒165-0031 東京都中野区上鷺宮5-7-1	03-3999-3415
〃 次 長	平松 功治	東 京 都	中 央 区 日 本 橋 中	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-10-1	03-3851-4074
〃 次 長	柄澤 茂之	東 京 都	中 野 区 第 四 中	〒165-0033 東京都中野区若宮1-1-8	03-3330-5325
〃 次 長	阿部 睦子	東 京 都	世田谷区 学大附属高	〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-1-5	03-3421-5151
〃 会 計	若松由美子	東 京 都	練 馬 区 開 進 第 一 中	〒179-0085 東京都練馬区早宮1-16-50	03-3993-2417
〃 会 計	伊藤 太一	東 京 都	中 野 区 第 四 中	〒165-0033 東京都中野区若宮1-1-8	03-3330-5325
〃 書 記	宇佐美賀英	東 京 都	板 橋 区 高 島 第 一 中	〒175-0082 東京都板橋区高島平8-26-1	03-3936-1171
〃 書 記	深澤 千聡	東 京 都	大 田 区 志 茂 田 中	〒144-0056 東京都大田区西六郷1-4-10	03-3732-9318
〃 部 員	岩口 明生	東 京 都	東 村 山 市 東 村 山 第 四 中	〒189-0022 東京都東村山市野口町3-24-1	042-391-9114
〃 部 員	渡邊 達也	東 京 都	中 野 区 第 三 中	〒164-0003 東京都中野区東中野5-12-1	03-3362-5236
フエア事務局長	奥山 拓雄	東 京 都	町 田 市 金 井 中	〒195-0072 東京都町田市金井6-15-1	042-734-0259
〃 次 長	入山 賢一	東 京 都	葛 飾 区 一 之 台 中	〒125-0002 東京都葛飾区西亀有4-1-1	03-3605-5230
〃 次 長	濱川 一彦	東 京 都	足 立 区 西 新 井 中	〒123-0841 東京都足立区西新井7-22-1	03-3890-8167
〃 次 長	矢島加都美	東 京 都	練 馬 区 大 泉 中	〒178-0063 東京都練馬区大泉4-27-35	03-3924-0771
〃 次 長	磯田 耕司	東 京 都	葛 飾 区 常 盤 中	〒125-0042 東京都葛飾区金町2-11-1	03-3607-1122
〃 次 長	星谷 雅俊	東 京 都	中 央 区 日 本 橋 中	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-10-1	03-3851-4074
〃 部 員	長塚 隆治	東 京 都	千 代 田 区 神 田 一 橋 中	〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-14	03-3265-5961
〃 部 員	山本 洋和	東 京 都	江 戸 川 区 清 新 第 一 中	〒134-0087 東京都江戸川区清新町1-5-14	03-3878-1281
〃 部 員	畠山 雅大	東 京 都	練 馬 区 大 泉 中	〒178-0063 東京都練馬区大泉4-27-35	03-3924-0771
〃 部 員	遠山 兼藏	東 京 都	武蔵野市 第 三 中	〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-23-8	0422-22-1426
〃 部 員	長谷川沙織	東 京 都	杉 並 区 和 田 中	〒166-0012 東京都杉並区和田2-21-8	03-3383-2428
研究調査部長	花田 茂	東 京 都	国 分 寺 市 第 一 中	〒185-0002 東京都国分寺市東戸倉2-6	042-322-0641
〃 副 部 長	大神田佳明	東 京 都	立 川 市 第 七 中	〒190-0034 東京都立川市西砂町6-28-3	042-531-0511
〃 部 員	原 泰介	東 京 都	国 分 寺 市 第 五 中	〒185-0005 東京都国分寺市並木町2-15	042-325-3735
〃 部 員	新堂 貢二	東 京 都	大 田 区 馬 込 東 中	〒143-0025 東京都大田区南馬込2-26-30	03-3773-3988
〃 部 員	久保 篤	東 京 都	あきる野市 東 中	〒197-0812 東京都あきる野市平沢200	042-558-1125
〃 部 員	赤堀 柳枝	東 京 都	小 金 井 市 小 金 井 第 一 小	〒184-0004 東京都小金井市本町1-1-6	042-383-1141
広 報 部 長	佐藤 秀直	東 京 都	足 立 区 青 井 小	〒120-0012 東京都足立区青井3-12-2	03-3880-2255
〃 副 部 長	水木 淳司	東 京 都	北 区 明 桜 中	〒114-0002 東京都北区王子6-3-23	03-5959-0031
〃 副 部 長	湯通堂由加里	東 京 都	葛 飾 区 小 松 中	〒124-0024 東京都葛飾区新小岩4-30-1	03-3653-1436
〃 部 員	別掲 (14名)	編集委員として「理論と実践」に掲載			
渉 外 部 長	高橋 章次	東 京 都	青 梅 市 泉 中	〒198-0024 東京都青梅市新町1-37	0428-31-2297
〃 副 部 長	丸山 康弘	群 馬 県	高 崎 市 寺 尾 中	〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2710	027-322-8527
〃 副 部 長	高橋 正充	東 京 都	日の出町 平 井 中	〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井2654	042-597-0021
〃 部 員	宮川 好朗	東 京 都	東 村 山 市 東 村 山 第 一 中	〒189-0024 東京都東村山市富士見町1-5-2	042-391-9111

顧 問

木崎 康男	(13代会長)
大宮 光徳	(14代会長)
奈良 治一	(15代会長)
鹿嶋 泰好	(16代会長)
小島 亮	(17代会長)
塩入 睦夫	(18代会長)
高澤 秀敏	(19代会長)
岩附 政美	(20代会長)
長南 裕志	(21代会長)
太田 達郎	(22代会長)
三浦 登	(23代会長)

参 与

村田 昭治	(元教科調査官)
津止登喜江	(元視学官)
浅見 匡	(元教科調査官)
櫻井 純子	(元主任視学官)
佐藤 勉	(元教科調査官)
河野 公子	(元主任視学官)
渡邊 康夫	(元教科調査官)
水野香代子	(元教科調査官)
岡 陽子	(前教科調査官)
岡田 真嘉	(公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会)

賛助会員

公益社団法人
全国中学校産業教育教材振興協会
(事務局長：飯塚 浩之)

平成26年度 事業報告

- | | |
|---|---|
| <p>1 本部事務局</p> <p>4月 事務局打ち合わせ、全国理事会の準備</p> <p>5月 役員会
全国理事会（5月24日ヴォーグビル）</p> <p>7月 文部科学省、厚生労働省、林野庁、
全日中校長会、全産協へ後援申請
文部科学省へ講師派遣、大臣祝辞等申請
全国中学生創造ものづくり教育フェア
公官庁他共催、後援申請、賞状申請</p> <p>10月 役員会</p> <p>11月 全国大会理事会（11月12日 徳島）
全国大会参加</p> <p>1月 役員会、
ブロック長会（1月24日中央区立銀座中学校）
創造ものづくり教育フェア運営</p> <p>2 フェア担当事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国中学生創造ものづくり教育フェア運営委員会（4・8・12・1月・2月） ・全国中学生創造ものづくり教育フェア（1月24～25日） ・全国大会理事会・大会参加 ・協賛委員会の開催 ・フェアブロック長会 | <ul style="list-style-type: none"> ・木青連 全国児童・生徒木工作品コンクール審査会参加 <p>3 研究調査部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日中研究テーマの提案 ・全国アンケート作成、実施 協力：全産協 ・全国大会理事会・大会参加 ・全国アンケートに関するプレゼンテーション（全国研究大会「徳島大会」にて） ・全国中学生創造ものづくり教育フェア運営協力 <p>4 広報部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「会報」第91号（7月15日）発行 ・「理論と実践」No.53号 編集・発行 ・全国大会理事会・大会取材、協力提案 ・全国中学生創造ものづくり教育フェア運営協力・取材 <p>5 渉外部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webページの運営 ・全国中学生創造ものづくり教育フェア運営委員会
メーリングリスト管理・運営 ・全国大会理事会・大会参加 ・全国中学生創造ものづくり教育フェア運営 |
|---|---|

全国中学校技術・家庭科研究会・研究主題

●研究主題

明日の生活を工夫・創造し、実践する力を育てる「技術・家庭科」の教育の推進

●設定理由

1. 新学習指導要領に対応する。

- (1) 総則、第一章の中で、「生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫をいかした特色ある教育活動」を行い、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得」させることを目指している。その学習の中で、「思考力、判断力、表現力」をはぐくみ「主体的に学習に取り組む態度」を養い、「個性を生かす」教育の充実を掲げている。
- (2) 技術・家庭科の目標として、「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術」の習得、「生活と技術の関わり」の理解「生活を工夫し創造する能力と実践的な態度」を育てることを目指している。
- (3) 技術・家庭科の学習は、「実践的・体験的な学習を通して」行われることが重視されている。
- (4) 技術領域、家庭領域に内容が拡充された。その領域の学習内容を系統的に学習することを重視する。
- (5) 「社会の変化に対応する」技術・家庭科を目指す。

以上のことを踏まえ、本教科の学習を通して、一人ひとりの生徒がこれからの社会を見据え、社会や身近な生活における技術や生活上の課題を考え、それらを解決する意欲と実践する力の育成を重視する。

2. 全国各地の「技術・家庭科」の実践を大切にする。

「技術・家庭科」は、北は北海道から、南は沖縄まで、それぞれ地域と深く結びついて教育を進めている。身近な生活の視点をふまえた問題の解決に取り組むことで、地域の特色を生かした「技術・家庭科」教育を大切にする。

3. 「技術・家庭科」の使命を果たす。

本研究主題を設定することで、「技術・家庭科」教育の発展のために、全国の「技術・家庭科」の教員が共通に課題を理解し、研究・研修を深め教科の使命を十分に果たせるようにする。

平成26年度 全日本中学校技術・家庭科研究会 決算報告

収入の部 (円)

科 目	予算額	決算額	比較(予)-(決)	備 考
会 費 収 入	6,978,400	7,025,700	-47,300	63875校×1100円
雑 収 入	100	790	-690	貯金利子
繰 越 金	843,725	843,725	0	
計	7,822,225	7,870,215	47,990	

支出の部 (円)

科 目	予算額	決算額	比較	備 考
研究大会費	2,530,000	2,586,868	-56,868	全国研究大会費 1,410,294
				創造ものづくりフェア 500,000
				作品展(賞状印刷) 75,600
				旅費 600,974
研究調査費	210,000	97,619	112,381	印刷製本費 0
				送料 0
				旅費 97,619
研究成果刊行費	4,060,000	4,046,280	13,720	理論と実践 3,570,000
				会報 441,000
				旅費・編集費 35,280
渉外費	580,000	500,000	80,000	HP運営費 500,000
				旅費等 0
理事会費	200,000	202,837	-2,837	全国理事会・ブロック長会 202,837
事務局費	120,000	126,451	-6,451	通信費・事務用品費 126,451
予備費	122,225	0	122,225	
計	7,822,225	7,560,055		

残 金 総収入 7,870,215
 総支出 7,560,055
 次年度繰越金 310,160

上記の通りご報告いたします。

平成 27年 5月 1日

全日中技術・家庭科研究会

会 長

事務局長

会 計

会計監査

同

同

池 田 敦 彦

関 年 隆

伊 藤 太 一

吉 田 哲 司

加 藤 讓 司

布 施 洋 輔

監査の結果上記の通り相違ありません。

平成 27年 5月 2日



平成27年度 事業計画

1 本部事務局

- (1) 役員会、全国理事会（5月23日）
- (2) 文部科学省他公官庁等と関係諸機関への申請手続き（研究大会、フェア）
- (3) 研究団体連絡
- (4) 全国大会（11月11日～13日 三重）、平成29年度 地区大会開催日調整
- (5) ブロック長会（全国・地区大会開催県会長会）（1月23日）
- (6) 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」への参加

2 フェア担当事務局

- (1) 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」の運営・開催（1月23日・24日）
- (2) 全国大会理事会・大会参加
- (3) フェア協賛委員会での協賛依頼と会場確保活動
- (4) 木青連 全国児童・生徒木工作品コンクール 審査会 参加

3 研究調査部

- (1) 平成27年度 技術・家庭科に関する全国アンケートの作成と実施

- (2) 技術・家庭科に関する実態調査・報告

（平成26年度調査を三重全国大会にて報告）

- (3) 全国大会理事会・大会参加
- (4) 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」への協力

4 広報部

- (1) 「会報」 第92号 発行
- (2) 「理論と実践」No.54号 編集・発行
- (3) 全国大会理事会・大会取材
- (4) 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」運営協力・取材

5 渉外部

- (1) 技術・家庭科教育充実に向けて、関係機関との連携
- (2) webページ サイトマップの見直し・運営
- (3) 全国中学生創造ものづくり教育フェア 運営委員会 メーリングリスト管理・運営
- (4) 全国ものづくりフェアのweb発信
- (5) 各都道府県市研究会のweb開設事業の支援等

平成27年度 全日本中学校技術・家庭科研究会 予算案

収入の部

(円)

科 目	予 算 額	昨年度予算	比 較	備 考
会 費 収 入	6,982,800	6,978,400	4,400	6348
雑 収 入	100	100	0	貯金利子
繰 越 金	310,160	843,725	-533,565	
計	7,293,060	7,822,225	-529,165	

支出の部

(円)

科 目	予 算 額	昨年度予算	比 較	備 考
研 究 大 会 費	2,530,000	2,530,000	0	全国研究大会費 1,400,000 創造ものづくりフェア 500,000 作品展（賞状印刷） 80,000 旅費 550,000
研 究 調 査 費	210,000	210,000	0	印刷製本費 100,000 送料 60,000 旅費 50,000
研究成果刊行費	3,660,000	4,060,000	-400,000	理論と実践 3,170,000 会報 430,000 旅費・編集費 60,000
渉 外 費	460,000	580,000	-120,000	HP運営費 400,000 記念品代 10,000 旅費等 50,000
理 事 会 費	200,000	200,000	0	全国理事会・ブロック長会 200,000
事 務 局 費	120,000	120,000	0	通信費・事務用品費 120,000
予 備 費	113,060	122,225	-9,165	
計	7,293,060	7,822,225	-529,165	

全日本中学校技術・家庭科研究会 会則

第1章 総 則

第1条 本会は全日本中学校技術・家庭科研究会と称する。

第2条 本会の事務所は会長の指定する場所におく。

第2章 目的及び事業

第3条 本会は技術・家庭科教育の研究ならびに振興を目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 研究調査
2. 研究大会、講演会及び見学等の開催
3. 研究成果及び機関誌の刊行
4. 授業実践の成果発表会（教育フェア）の開催
5. 施設・設備及び技術・家庭科教育の充実を図るための活動
6. 全国技術・家庭科関係団体との連絡及び協力
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 組織及び会員

第5条 本会はこの会の目的・事業に賛同する技術・家庭科担当の校長、副校長、教頭、教員及びこの教科の教育に理解ある者を以って組織し、地区ごとに地区研究会を設け、都道府県ごとに支部をおく。地区研究会及び支部については別に定める。

第6条 本会の会員は次のとおりとする。会費については別に定める。

1. 正会員 本会の目的・事業に賛同する技術・家庭科担当の校長、副校長、教頭、教員で所属する支部に会費規定第1条の会費を納める者。
2. 賛助会員 本会の目的・事業に賛同する者で会費規定第2条の会費を本部に納める者。

第4章 役 員

第7条

第1項 本会に次の役員をおく。

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 会 長 | 1名 |
| 2. 副 会 長 | 5名～7名 |
| 3. 常任理事（ブロック長） | 若干名 |
| 4. 理 事 | 49名 |
| 5. 顧 問 ・ 参 与 | 若干名 |
| 6. 会 計 監 査 | 3名 |
| 7. 事 務 局 長 ・ 次 長 | 若干名 |
| 8. フェア本部事務局長・次長 | 若干名 |
| 9. 部長・副部長 | 各部若干名 |

第2項 本会に次の役員をおくことができる。

1. 相談役 1名

第8条 役員の選出は次のとおりとする。

1. 会長、副会長、会計監査は理事会（総会）において選出し、総会の承認を得る。
2. 常任理事は各地区理事の互選による。
3. 理事は支部長をもってあてる。
4. 顧問及び参与は理事会の議決によって、会長が委嘱する。
5. 相談役は現職校長及び前会長であることが条件となり、役員会において選出し、会長が委嘱する。
6. 事務局長・フェア本部事務局長及び部長は会長が委嘱する。

第9条 役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は会務を統括し、本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
3. 常任理事は常任理事会を、理事は理事会を組織し、本会の運営について協議し、執行する。
4. 顧問及び参与は会長の諮問に応ずる。
5. 相談役は役員会の諮問に応ずるために、役員会に出席し協議・運営に携わることができる。
6. 会計監査は本会の会計を監査する。

7. 事務局員は本会の事務を処理し、事務局の構成は別に定める。

8. フェア本部事務局員は「全国中学生創造ものづくり教育フェア」に参画し、事務及び運営を行う。フェア本部事務局員の構成は別に定める。

9. 部長は各部の事業を統括する。部員の構成は部長が役員会に推薦する。

第10条 役員の任期は次のとおりとする。

1. 役員（顧問・参与及び相談役は除く）の任期は2年とし、再任を妨げない。補充による役員の任期はその役員の残任期間とする。
2. 相談役の任期は1年とする。再任は行わないこととする。
3. 顧問・参与の任期は、特に定めない。

第5章 会 議

第11条 本会の会議は次のとおりとし、会長が招集する。

1. 総会は年1回開催する。必要に応じ、臨時総会を開くことができる。また、理事会を持って総会にかえることができる。
2. 常任理事会、理事会は随時開催する。
3. 会議の議事は出席者の過半数をもって決する。ただし、賛否同数のときは、議長の決するところとする。

第6章 会 計

第12条 本会の経費は次の収入による。

1. 会員の会費
2. 補助金
3. その他の収入

第13条 会費の額は別に定める。

第14条 本会の予算及び決算は理事会において決定し、総会の承認を得る。

第15条 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 付 則

第16条 本会の会則は総会の承認を経なければ改廃することはできない。

第17条 本会の会則は昭和39年5月5日より施行する。本会の会則は昭和42年5月23日より施行する。

中略

本会の会則は平成13年5月26日より施行する。

本会の会則は平成26年5月24日より施行する。

細 則

第1条 事務局は、事務局長、次長、書記、会計をもって構成する。

第2条 フェア本部事務局員は、次長、部員をもって構成する。

第3条 本会の事業を実施するため次の部を設ける。

1. 研究・調査部
2. 広報部
3. 渉外部

第3条 地区研究会は次のとおりとする。

1. 地区研究会は次の地区におくものとする。
北海道地区、東北地区、関東甲信越地区、東海北陸地区、近畿地区、中国・四国地区、九州地区
2. 地区研究会には地区研究会長をおき、必要な規則を定める。

第4条 支部の組織・運営は次のとおりとする。

1. 支部はその都・道・府・県・市（大阪、京都）の中学校に勤務する会員で組織する。
2. 支部に支部長をおく。
3. 支部は必要に応じ規則を定め、また会費を徴収する。
4. 会費は毎年7月20日までに本部に納入する。

会 費 規 定

第1条 正会員 本部に納める会費は、会員の所属する学校ごとに年額1,100円とする。

第2条 賛助会員 1口を年額5,000円とし、1口以上とする。

理事名簿

	都道府県名	会 長	学校名	所 在 地	電 話	FAX
1	北海道	近久 直人	札幌市立福移中学校	007-0890 札幌市東区中沼町240番地	011-791-4212	011-791-8307
2	青 森	小林 弘和	青森市立造道中学校	030-0914 青森県青森市岡造道2丁目14-1	017-741-3413	017-741-7742
3	岩 手	藤原美智雄	紫波町立紫波第二中学校	028-3312 岩手県紫波郡紫波町犬吠森間木沢70	019-672-3480	019-672-3383
4	宮 城	山脇 豊勝	仙台市立長命ヶ丘中学校	981-3212 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘2丁目11-1	022-378-1301	022-377-9658
5	秋 田	刈田 茂	秋田市立桜中学校	010-0059 秋田県秋田市桜台1-1-1	018-837-5305	018-837-5306
6	山 形	伊藤 憲一	大石町立大石田中学校	999-4111 北村山郡大石田町大字大石田丁218-1	0237-35-2120	0237-35-4311
7	福 島	高橋 卓夫	伊達市立梁川中学校	960-0733 福島県伊達市梁川町字菖蒲沢141番地6	024-577-2161	024-577-4972
8	茨 城	磯崎 則男	水戸市立稲荷第二小学校	311-1134 茨城県水戸市百合が丘町997-204	029-248-8011	029-248-8419
9	栃 木	佐々木徳志	宇都宮市立陽東中学校	321-0921 栃木県宇都宮市石井町2800-42	028-662-9105	028-683-3151
10	群 馬	上原志之夫	渋川市立子持中学校	377-0202 群馬県渋川市中郷2258-3	0279-53-3515	0279-53-5165
11	埼 玉	野口 浩	さいたま市立与野東中学校	338-0002 埼玉県さいたま市中央区下落合3-21-10	048-831-4527	048-831-4505
12	千 葉	天野新太郎	千葉市立朝日ヶ丘中学校	262-0019 千葉県花見川区朝日ヶ丘2-4-1	043-273-6651	043-275-1998
13	東 京	田極政一郎	武蔵野市立第六中学校	180-0022 東京都武蔵野市境3-20-10	0422-53-6311	0422-55-5212
14	神奈川	高浪 文隆	横浜市立緑が丘中学校	227-0051 神奈川県横浜市青葉区千草台50番地の1	045-973-5375	045-974-4293
15	新 潟	高野富士雄	長岡市立大島中学校	940-2111 新潟県長岡市三ツ郷屋町字下川原342	0258-27-1455	0258-27-1586
16	山 梨	加々本哲也	中央市立玉穂中学校	409-3821 山梨県中央市下河東180	055-273-8211	055-273-8214
17	長 野	村澤 資憲	飯田市立緑ヶ丘中学校	395-0813 長野県飯田市毛賀426	0265-22-1469	0265-22-1417
18	富 山	宮下 安次	射水市射北中学校	933-0224 富山県射水市堀岡古明神20	0766-86-0016	0766-86-0593
19	石 川	能波 裕司	金沢市立額中学校	921-8146 石川県金沢市額乙丸町イ7番地	076-298-3520	076-298-2049
20	福 井	桑原さとみ	永平寺町上志比中学校	910-1314 福井県吉田郡永平寺町栗住波16-47	0776-64-2040	0776-64-3210
21	岐 阜	加納 博明	岐阜市立陽南中学校	500-8353 岐阜県岐阜市六条東1-1-1	058-274-0055	058-274-0083
22	静 岡	藤井 信男	浜松市立佐久間中学校	431-3908 静岡県浜松市天竜区佐久間町中部682-1	053-965-0237	053-965-1623
23	愛 知	内川 和則	名古屋市立東星中学校	464-0808 愛知県名古屋千種区星が丘山手105番地	052-783-1188	052-783-1186
24	三 重	廣田 隆延	鈴鹿市立創徳中学校	513-0803 三重県鈴鹿市三日市町1803-8	059-382-5205	059-382-5720
25	滋 賀	奥西 邦彦	栗東市立栗東中学校	520-3015 滋賀県栗東市安養寺6-6-15	077-552-4359	077-552-4354
26	京都府	一ノ瀬明美	福知山市立桃映中学校	620-0893 京都府福知山市字堀1691番地	0773-22-3220	0773-24-2612
27	京都市	長谷川正己	京都市立梅津中学校	615-0937 京都市右京区梅津北川町34	075-882-0910	075-882-0977
28	大阪府	外畑 拓哉	岸和田市立土生中学校	596-0825 大阪府岸和田市土生町604番地	072-428-2160	072-428-2161
29	大阪市	吉岡 千明	大阪市立新生野中学校	544-0014 大阪府大阪市生野区巽東3-3-12	06-6757-1421	06-6757-5308
30	兵 庫	中嶋 健二	三木市立志染中学校	673-0512 兵庫県三木市志染町井上198	0794-87-3334	0794-89-8120
31	奈 良	西本 孔則	高取町立高取中学校	635-0132 奈良県高市郡高取町森30	0744-52-2151	0744-52-2760
32	和歌山	東 修一	有田町立八幡中学校	643-0521 和歌山県有田郡有田町清水430-1	0737-25-1125	0737-25-1125
33	鳥 取	平井 光一	鳥取市立湖東中学校	680-0941 鳥取県鳥取市湖山町北6丁目323番地	0857-28-1064	0857-28-0041
34	鳥 根	高橋 一郎	出雲市立浜山中学校	693-0052 鳥根県出雲市松寄下町1674番地	0853-23-2717	0853-23-2749
35	岡 山	内藤 憲二	倉敷市立黒崎中学校	713-8126 岡山県倉敷市玉島黒崎6057	086-528-0302	086-528-2634
36	広 島	松重 修	広島市立安佐中学校	731-0124 広島県広島市安佐南区大町東4-1-6	082-877-0111	082-870-6355
37	山 口	鮎川 友子	山口市立徳地中学校	747-0231 山口県山口市徳地堀1606-1	0835-52-0039	0835-52-1855
38	徳 島	中川 隆彦	小松島市小松島中学校	773-0010 徳島県小松島市日開野町字弥三次3-1	0885-32-2044	0885-33-3431
39	香 川	山下 晴久	高松市立勝賀中学校	761-8014 香川県高松市香西南町565	087-881-3141	087-881-3142
40	愛 媛	西村久仁夫	鬼北町立日吉中学校	798-1502 愛媛県北宇和郡鬼北町大字下鍵山816	0895-44-2023	0895-44-2130
41	高 知	西村 孝彦	佐川町立黒岩中学校	789-1211 高知県高岡郡佐川町黒原2709	0889-22-9326	0889-20-0023
42	福 岡	和田 誠一	篠栗町立篠栗北中学校	811-2415 福岡県糟屋郡篠栗町大字津波黒498番地	092-947-5675	092-948-2026
43	佐 賀	小森 義美	唐津市立七山中学校	847-1107 佐賀県唐津市七山藤川2263番地	0955-58-2009	0955-58-2930
44	長 崎	金崎 良一	長与町立高田中学校	851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷1912-1	095-857-5227	095-857-5281
45	熊 本	田尻 安洋	熊本市立力合中学校	861-4133 熊本県熊本市南区島町5-8-1	096-358-6454	096-358-6487
46	大 分	野仲 正貴	臼杵市立豊洋中学校	875-0001 大分県臼杵市大字佐志生5154-1	0972-67-2003	0972-67-2005
47	宮 崎	植木 秀芳	宮崎市立青島中学校	889-2164 宮崎県宮崎市折生迫4828番地	0985-65-1248	0985-65-1354
48	鹿 児 島	黒丸 米行	鹿児島市皇徳寺中学校	891-0103 鹿児島県鹿児島皇徳寺台3-35-1	099-265-6692	099-265-6609
49	沖 縄	久志 栄徳	北谷町立桑江中学校	904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-4-7	098-936-2244	098-936-0172

事務局長名簿

	都道府県名	事務局長	学校名	所在地	電 話	FAX
1	北海道	高橋 正幸	札幌市立北都中学校	003-0869 札幌市白石区川下749番地56	011-872-5201	011-872-4596
2	青 森	澤田 基	青森市立佃中学校	030-0963 青森県青森市中佃2-7-1	017-742-4251	017-742-7742
3	岩 手	高橋 光広	盛岡市立下橋中学校	020-0876 岩手県盛岡市馬場町1-1	019-623-4337	019-623-4338
4	宮 城	遠藤 昌宏	仙台市立長命ヶ丘中学校	981-3212 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘2丁目11-1	022-378-1301	022-377-9658
5	秋 田	庄内 智矢	秋田市立桜中学校	010-0059 秋田県秋田市桜台1-1-1	018-837-5305	018-837-5306
6	山 形	長岡 篤志	東根市立第一中学校	999-3786 山形県東根市鷺の宿1番1号	0237-42-0114	0237-42-0172
7	福 島	神保 邦広	福島市立野田中学校	960-8057 福島県福島市笹木野字市街道28-1	024-531-0031	024-536-7595
8	茨 城	滝本 穰治	茨城大学教育学部附属中学校	310-0056 茨城県水戸市文京1-3-32	029-221-5802	029-221-3387
9	栃 木	濱崎 慎一	野木町立野木第二中学校	329-0114 下都賀郡野木町大字野木4048	0280-55-2701	0280-55-2703
10	群 馬	丸山 康弘	高崎市立寺尾中学校	370-0865 群馬県高崎市寺尾町2710	027-322-8527	027-328-2276
11	埼 玉	金子慎一郎	さいたま市立春野中学校	337-0002 さいたま市見沼区春野2-2-1	048-682-3951	048-682-3952
12	千 葉	山田 克彦	千葉市立大宮中学校	264-0016 千葉市若葉区大宮町2077	043-263-7964	042-268-5861
13	東 京	平松 功治	中央区立日本橋中学校	103-0004 東京都中央区東日本橋1-10-1	03-3851-4074	03-3865-2944
14	神奈川	影山 聡史	横須賀市立長沢中学校	239-0842 神奈川県横須賀市長沢5-1-1	046-849-5431	046-849-5798
15	新 潟	川上 晃平	長岡市立青葉台中学校	940-2145 新潟県長岡市青葉台1丁目甲222-1	0258-47-0990	0258-47-4714
16	山 梨	中澤 康夫	中央市立玉穂中学校	409-3821 山梨県中央市下河東180	055-273-8211	055-273-8214
17	長 野	二村 智	上田市立第一中学校	386-0016 長野県上田市国分200	0268-21-2680	0268-21-2681
18	富 山	松田 勝仁	黒部市立高志野中学校	938-0027 富山県黒部市植木448-10	0765-57-1069	0765-57-1068
19	石 川	杉中 純子	金沢市立港中学校	920-8217 石川県金沢市近岡町217番地	076-238-5663	076-238-4833
20	福 井	笠松 澄人	永平寺町上志比中学校	910-1314 福井県吉田郡永平寺町栗住波16-47	0776-64-2040	0776-64-3210
21	岐 阜	鷺見 亮	岐阜市立高富中学校	501-2105 岐阜県岐阜市高富2845番地1	0581-22-1063	0581-22-3153
22	静 岡	嶋田 喜守	浜松市立北浜中学校	434-0033 静岡県浜松市浜北区西美園279-2	053-586-3101	053-586-4106
23	愛 知	石原 進司	名古屋市立牧の池中学校	465-0065 愛知県名古屋市中東区梅森坂1丁目2504番地	052-704-2051	052-704-2082
24	三 重	渥美 勇輝	鈴鹿市立平田野中学校	513-0836 三重県鈴鹿市国府町9105-1	059-378-0126	059-378-4895
25	滋 賀	宮内 稔	滋賀大学教育学部附属中学校	520-0817 滋賀県大津市昭和町10番3号	077-527-5255	077-527-5261
26	京都府	一瀬 誠	南丹市立園部中学校	622-0051 京都府南丹市園部町横田3-51	0771-62-0222	0771-62-0096
27	京都市	森 英夫	京都市立洛南中学校	601-8324 京都府京都市南区吉祥院落合町31	075-691-0018	075-691-0220
28	大阪府	中 靖宏	豊中市立第五中学校	560-0025 大阪府豊中市立花町1-10-1	06-6843-4006	06-6857-4973
29	大阪市	大島 由也	大阪市立田辺中学校	546-0033 大阪市東住吉区南田辺4-7-24	06-6692-0117	06-6692-0318
30	兵 庫	坂口 喜啓	神戸大学附属中等教育学校	658-0063 兵庫県神戸市東灘区住吉山手5-11-1	078-811-0232	078-821-1504
31	奈 良	篠田 隆	奈良市立都祁中学校	632-0251 奈良県奈良市針町2554	0743-82-0300	0743-82-0812
32	和歌山	一色 秀之	和歌山大学教育学部附属中学校	640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-1	073-422-3093	073-428-1681
33	鳥 取	窪田 佳弘	鳥取市立北中学校	680-0011 鳥取県鳥取市東町3丁目371番地1	0857-22-3417	0857-22-7917
34	島 根	錦織 修司	出雲市立浜山中学校	693-0052 島根県出雲市松寄下町1674番地	0853-23-2717	0853-23-2749
35	岡 山	難波吉三郎	岡山市立御津中学校	709-2121 岡山県岡山市北区御津字垣1227	086-724-0541	086-724-0534
36	広 島	岸 将治	広島市立国泰寺中学校	730-0042 広島県広島市中区国泰寺町1-1-41	082-241-8108	082-240-1379
37	山 口	平田 直樹	山口大学教育学部附属光中学校	743-0007 山口県光市室積8-4-1	0833-78-0007	0833-75-1509
38	徳 島	谷 陽子	鳴門教育大学附属中学校	770-0804 徳島県徳島市中吉野町1-31	088-622-3852	088-652-0122
39	香 川	有友 誠	香川大学教育学部附属高松中学校	761-8082 香川県高松市鹿角町394	087-886-2121	087-886-2124
40	愛 媛	北川 雅士	松前町立松前中学校	791-3110 愛媛県伊予郡松前町大字浜963	089-984-1149	089-984-8295
41	高 知	福田 元一	高知市立横浜中学校	781-0241 高知県高知市横浜新町1-401	088-841-2215	088-841-2240
42	福 岡	池田 篤史	糸島市立前原中学校	819-1129 福岡県糸島市篠原西2-2-1	092-322-2038	092-324-5261
43	佐 賀	北村 健二	佐賀市立成章中学校	840-0814 佐賀県佐賀市成章町7番1号	0952-24-4265	0952-24-4266
44	長 崎	中原 忍	長崎県立長崎東中学校	850-0007 長崎県長崎市立山5-13-1	095-821-4642	095-823-5472
45	熊 本	酒井 剛	熊本市立植木北中学校	861-0114 熊本県熊本市北区植木町舟島455番地1	096-272-0209	096-272-0431
46	大 分	田島 勉	大分市立王子中学校	870-0815 大分県大分市南春日町6番1号	097-543-0291	097-543-0294
47	宮 崎	佐原 大祐	宮崎市立広瀬中学校	880-0211 宮崎市佐土原町下田島20305番地12	0985-73-1818	0985-73-1971
48	鹿 児 島	古定 周	鹿児島市立甲南中学校	890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町36番32号	099-254-9155	099-254-9156
49	沖 縄	佐々木 孝	那覇市立寄宮中学校	902-0077 沖縄県那覇市長田1-13-65	098-917-3408	098-917-3428

第54回全日本中学校技術・家庭科研究大会
第52回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会

三重大会のご案内

- 1 期 日 平成27年11月11日(水)～13日(金)
11日(水)【理事研修会】 グリーンパークホテル津
12日(木)【全体会・講演会】 三重県総合文化センター
13日(金)【公開授業・分科会】 三重県内中学校 7会場 8分科会
- 2 研究主題 生活の中で活かす確かな実践力の育成 ～安全・安心な生活の視点を導入した授業の工夫～

3 主題設定の理由

知識基盤社会の時代といわれる近年の社会構造の中、学校教育では「生きる力」を育むことが重要視されている。技術・家庭科においては、技術と社会や環境とのかかわりについての理解を通して、知識や技術を獲得し、それらを主体的に活用する力が求められている。一方、子どもたちの生活はますます便利になり、獲得した知識や技術を主体的に活用する経験は乏しくなったと考えられる。そこで、本教科において、実践的・体験的な学習を通して、知識や技術の獲得だけではなく、それらを活用する実践力を育成することが必要であると考えた。また、社会における安全・安心の意識の高まりを受け、生活に直結した教科として、この視点を導入し、授業の工夫を図ることが今後の生活の中で、獲得した知識や技術を主体的に活用する力を育むためには重要であると考えた。以上のことより、本研究では、技術・家庭科の趣旨やねらいを踏まえ、安全・安心な生活の視点を導入した授業の工夫を図ることを通して、獲得した知識や技術を生活の中で活かすことのできる確かな実践力を備えた生徒の育成を目指して、本主題を設定した。

4 指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

5 記念講演

演題 「安全な農畜産物の生産と加工販売」
講師 株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム 会長 木村 修 氏

6 日 程

11月11日(水) 東海・北陸地区理事研修会 13:00～

全日中理事会 15:00～

情報交換会 17:00～

11月12日(木) 全体会・講演会

9:10 9:40 10:40 12:20 13:40 14:50 16:00 16:30

受付	開会式	全体発表 研究協議	昼食・休憩	指導講評	記念講演	閉会式
----	-----	--------------	-------	------	------	-----

11月13日(金) 授業公開・分科会

8:40 9:10 9:50 10:40 10:50 12:00 13:00 14:20 14:40

受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究 研究協議	昼食 休憩	研究協議 指導講評	閉会式
----	-----	------	----	--------------	----------	--------------	-----

*第4・5分科会は9:55、第8分科会は9:45から授業が始まります

7 分科会

分科会	提案内容	会 場	授業者(所属校)	提案発表者(所属校)
第1分科会	A 材料と加工に関する技術	津市立朝陽中学校	中村 元昭 (津市立朝陽中学校)	中村 規久 (津市立東橋中学校)
第2分科会	B エネルギー変換に関する技術	桑名市立陵成中学校	白井 雅浩 (桑名市立陵成中学校)	山本 太郎 (桑名市立成徳中学校)
第3分科会	C 生物育成に関する技術	鈴鹿市立神戸中学校	古市 裕太 (鈴鹿市立千代崎中学校)	山中 喜宏 (鈴鹿市立鈴峰中学校)
第4分科会	D 情報に関する技術	伊賀市立青山中学校	大黒屋 太 (伊賀市立青山中学校)	澤 二郎 (伊賀市立城東中学校)
第5分科会	A 家族・家庭と子どもの成長	三重大学教育学部附属中学校	吉岡 良江 (三重大学教育学部附属中学校)	吉岡 良江 (三重大学教育学部附属中学校)
第6分科会	B 食生活と自立	鈴鹿市立神戸中学校	別所真理子 (鈴鹿市立神戸中学校)	堤 博江 (鈴鹿市立白鳥中学校)
第7分科会	C 衣生活・住生活と自立	松阪市立中部中学校	徳田 雅美 (松阪市立中部中学校)	鳥居 陽子 (鈴鹿市立鈴峰中学校)
第8分科会	D 身近な消費生活と環境	津市立橋北中学校	田中かおり (津市立橋北中学校)	井ノ口敦子 (津市立西橋内中学校)

- 8 大会諸経費 (1) 大会参加費(資料代) 4,000円 (2) 弁当・お茶代(希望者) 1,000円

- 9 大会事務局 鈴鹿市立平田野中学校 渥美 勇輝

〒513-0836 鈴鹿市国府町9105番地の1

TEL 059-378-0126 FAX 059-378-4895

MAIL atumi204004@yahoo.co.jp URL <http://sangikaken.sakura.ne.jp/>

第16回全国中学生創造ものづくり教育フェア

実施要項抜粋

開催期間

平成28年1月23日(土) 24日(日)

第1会場・・・武蔵野総合体育館

・木工チャレンジコンテスト

・「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

・体験セミナー

・ものづくり学習に関する展示

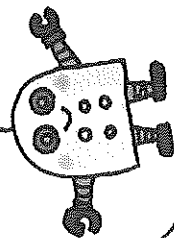
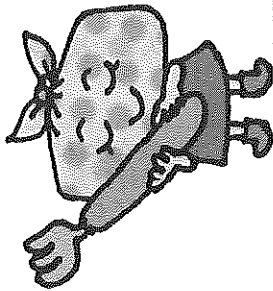
・作品コンクール

・創造アイデアロボットコンテスト

・パソコン入力コンクール

第2会場・・・女子栄養大学駒込キャンパス

・「あなたのためのおべんとう」コンクール



主催 全日本中学校技術・家庭科研究会

共催 (予定) 文部科学省

(公社) 全国中学校産業教育教材振興協会
(公財) つくば科学万博記念財団

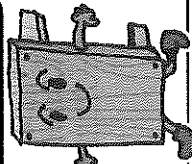
日本産業技術教育学会

日本家庭科教育学会

女子栄養大学 武蔵野市教育委員会 他

詳しい内容は
Webページより閲覧できます。

<http://aigika.ne.jp>



生徒作品コンクール

各都道府県市技術分野・家庭分野 I 部門 3 点 II 部門 2 点 計 10 点

○全国の中学生が、工夫・創造して製作した作品を展示し、生徒相互の「ものづくり」への意欲を高揚する。

○各都道府県市技術・家庭科研究会から推薦された創造作品とする。

○技術分野 I 部門 (授業内製作作品) 3 作品

II 部門 (自主製作作品) 2 作品

○家庭分野 I 部門 3 作品

II 部門 2 作品

申込期限 平成27年12月4日(金)

申込先 〒959-3264 新潟県岩船郡関川村大字上関589番地2

関川村立関川中学校 教諭 山本 亘

電話 0254-64-1063 FAX 0254-64-3072 fair_aki@yahoo.co.jp

※入賞作品は全国フェア終了後(公財)つくば科学万博記念財団で展示されます。
一部の作品は、さらに、木材・合板博物館で展示され、その後返却になります。

木工チャレンジコンテスト

○ものづくりの技術を全国の中学生が競う場として、アイディア部門・製作部門の2部門を通じた競技大会。

○木材を中心とした身近な材料を利用して、設計や製作を行い、完成したもののプレゼンテーションを通して評価する。

○競技時間 4時間20分

○材料 ヒノキ板材(寸法: t15×W200×L900, 2枚) シナ合板(寸法: t4×W450×L450, 1枚)

問合せ 〒320-0821 栃木県宇都宮市一条1丁目4-7 宇都宮市立一条中学校 教諭 芝 正憲

TEL 028-633-0401 FAX 028-633-0438

ichio-t12@ueis.ed.jp

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

競技方法 フロッグ代表が製作の規定に従いアイデアバッグの製作を3時間30分で行う(材料費は2千円程度、ポケットは必ず本体につけるなど)詳しくはWebページ参照

参加費 2000円

応募締切り A方式12月1日(火)、B方式11月13日(金)

申込方法 詳しくはWebページ参照

申込問合せ 〒386-0011 長野県上田市中央北3-3-62 上田市立第三中学校 高井 久

TEL 0268-22-1622 FAX 0268-22-1799 takai-hisashi@school.lumie.jp

「あなたのためのおべんとう」コンクール

競技方法 各都道府県代表よりレポートを審査し、全国大会出場グループを選出。

1グループ2または3人のグループで調理競技(おべんとうづくり)と、

ブレゼンテーション(1分)を行います。詳しくはWebページ参照

各都道府県で選出し12月2日(水)千葉県教育学園附属中学校まで必着

おべんとうづくり・ブレゼンテーション 女子栄養大学駒込キャンパス

「魚を使った料理」を主菜とする。詳しくはWebページ参照

1チーム2000円

千263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

千263-8522 千葉大学教育学部附属中学校

申込問合せ TEL 043-290-2480 FAX 043-290-2494

manzaki@chiba-u.jp

パソコン入力コンクール

<http://www.mnpaso.net/>

パソコン入力の予選9月10日～10月20日昨年度の予定で本年度は未定 予選大会団体登録が必要

メール入力の部Web上で参加9月10日～10月20日昨年度の予定で本年度は未定 ただし1回限り

創造アイデアロボットコンテスト

競技部門 基礎部門 「はじめてのおつかい2015」詳しくはWebページ参照

活用部門 「Reverse of Paper cop」詳しくはWebページ参照

応用部門 「THET 綱引」詳しくはWebページ参照

助演部門 技術・家庭科の学習内容を2分間以内の映像でまとめる

1チーム2000円 (助演部門参加者を除く)

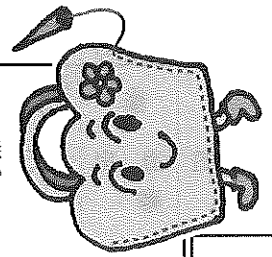
12月18日(金) 17:00 厳守

提出先: 詳しくは <http://aigika.ne.jp/~robo/> 参照

ルールに関する問合せは、E-mailのみで受け付けます。質問方法は、

専用Webページを見てください。 <http://aigika.ne.jp/~robo/>

※得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合う場です。



体験セミナー

講座 講座内容と講座数は検討中 (詳しくはWebページを参照)

参加者 希望者は当日受付を行う。

平成27年度 全国・各地区大会

全日本中学校技術・家庭科研究会

地区名	府県名	開催期間（全体会場）	参加費	大会事務局	研究主題
北海道	道 南	理事会…10月22日（木） （ロワジュールホテル函館） 全体会…10月23日（金） （ロワジュールホテル函館） 分科会…10月23日（金） 2会場 4分科会	¥4,000	〒041-0821 函館市港町2-10-1 函館市立 港 中学校 TEL 0138-41-5790 FAX 0138-41-5791 本谷 聡	「創造する意欲」を高める技術・ 家庭科教育 ～生き抜く力を育む学習活動の 展開～
東 北	宮城県	理事会…11月9日（月） （ベストウェスタンホテル仙台） 全体会…11月10日（火） （仙台市立長命ヶ丘中学校） 分科会…11月10日（火） 1会場 8分科会	¥4,000	〒981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘2-11-1 仙台市立長命ヶ丘中学校 TEL 022-378-1301 FAX 022-377-9658 遠藤 昌宏	「生活で活用できる力」の育成を 目指して ～「つながり」を深めるための 指導法の工夫～
関 東 甲信越	山梨県	理事会…10月29日（木） （甲府市総合市民会館） 全体会…10月29日（木） （甲府市総合市民会館） 分科会…10月30日（金） 7会場 8分科会	¥4,000	〒400-0123 甲斐市島上条1263 甲斐市立敷島中学校 TEL 055-277-3151 FAX 055-277-5161 神宮寺透友	未来社会を展望し、生活を創る 力を育てる技術・家庭科教育 ～「思考のトレーニング」を 取り入れた授業を通して～
東 海 北 陸	三重県 （全国）	理事会…11月11日（水） （グリーンパークホテル津） 全体会…11月12日（木） （三重県総合文化センター） 分科会…11月13日（金） 7会場 8分科会	¥4,000	〒513-0836 鈴鹿市国府町9105-1 鈴鹿市立平田野中学校 TEL 059-378-0126 FAX 059-378-4895 渥美 勇輝	生活の中で活かす確かな実践 力の育成 ～安全・安心な生活の視点を 導入した授業の工夫～
近 畿	奈良県	理事会…11月5日（木） （橿原オークホテル） 全体会…11月6日（金） （畿央大学） 分科会…11月6日（金） 3会場 6分科会	¥4,000	〒632-0251 奈良市針町2554 奈良市立都祁中学校 TEL 0743-82-0300 FAX 0743-82-0812 篠田 隆	心豊かな人間性を育む技術・ 家庭科教育 ～学びと生き方との関わりを 深める～
中 国 四 国	鳥取県	理事会…12月1日（火） （ホテルモナーク鳥取） 全体会…12月2日（水） （とりぎん文化会館） 分科会…12月3日（木） 4会場 8分科会	¥4,000	〒689-0331 鳥取市気高町浜村784番地54 鳥取市立気高中学校 TEL 0857-82-0118 FAX 0857-82-0312 山本 貞治	社会を生き抜く力を育む技術・ 家庭科教育 ～「創造」に学び、問題を解決 する実践授業づくり～
九 州	熊本県	理事会…11月25日（水） （くまもと森都心プラザ） 全体会…11月27日（金） （くまもと森都心プラザ） 分科会…11月26日（木） 3会場 4分科会	¥4,000	〒861-0114 熊本市北区植木町舟島455番地1 熊本市立植木北中学校 TEL 096-272-0209 FAX 096-272-0431 酒井 剛	「学びを生かし、明日の生活を 創り出す技術・家庭科教育」

編集後記

総会・全国理事会は、平成27年5月23日（土）に市ヶ谷のヴォークビルで開催されました。平成26年度事業報告、決算、監査報告、本部役員改選、平成27年度事業計画、予算が承認され、本年度の全日本技術・家庭科研究会の活動がスタートいたしました。技術・家庭科の時数の増加や専任教諭の適正配置等、次期新指導要領の改訂に向けて全国の山積する様々な課題に対応しながら、さらに研究を深め情報交換を密に行なうことで、教科指導や授業改善が一層充実することを願っております。また、本年度は全国中学生創造ものづくり教育フェアを、平成28年1月23日（土）、24日（日）の二日間の日程で、東京都武蔵野市にある武蔵野総合体育館および女子栄養大学を会場として開催いたします。本年度も、東北の早期復興を願い、第54回全日本中学校技術・家庭科研究大会が大成功に終わりますようご祈念申し上げます。

第92号 会報編集（広報部部長）
〒120-0012 東京都足立区青井3-12-2

足立区立青井小学校 校長 佐藤 秀直
TEL 03-3880-2258 FAX 03-3880-2256
E-mail ao5-ead@adachi.ed.jp